

7 月 1 日 （ 第 1 号 ）

令和6年豊能町議会7月会議会議録目次

令和6年7月1日（第1号）

出席議員	1
議事日程	2
開会の宣告	3
町長あいさつ	3
開議の宣告	3
会議録署名議員の指名	3
（議案提案理由説明・質疑・討論・採決）	
第36号議案 令和6年度豊能町一般会計補正予算（第2回） の件	3
第37号議案 令和6年度豊能町国民健康保険特別会計診療所 施設勘定補正予算（第1回）の件	6
散会の宣告	10

令和6年豊能町議会7月会議会議録（第1号）

年 月 日 令和6年7月1日（月）

場 所 豊 能 町 役 場 議 場

出席議員 11名

1 番	池田 忠史	2 番	才脇 明美
3 番	吉田 正子	4 番	中川 敦司
5 番	寺脇 直子	6 番	管野英美子
7 番	永谷 幸弘	8 番	永並 啓
9 番	小寺 正人	10 番	秋元美智子
11 番	高尾 靖子		

欠 席 議 員 12 番 川上 勲

本会議に説明のため出席した者は、次のとおりである。

町 長	上浦 登	副 町 長	高木 仁
教 育 長	板倉 忠	政 策 監	大西 隆樹
総 務 部 長	入江 太志	生活福祉部長	小森 進
都市建設部長	坂田 朗夫	こども未来部長	仙波英太郎

本会議に職務のため出席した者は、次のとおりである。

議会事務局長	浜本 正義	書 記	平田 旬
書 記	杉田 庄司		

議 事 日 程

令和 6 年 7 月 1 日（月）午前11時開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 第36号議案 令和 6 年度豊能町一般会計補正予算（第 2 回）
の件

日程第 3 第37号議案 令和 6 年度豊能町国民健康保険特別会計診療所
施設勘定補正予算（第 1 回）の件

開会 午前11時00分

○議長（永並 啓君）

皆様、おはようございます。

ただいまの出席議員は11名であります。

定足数に達しておりますので、令和6年度豊能町議会7月会議を開会いたします。

7月会議に当たりまして町長より挨拶がございます。

上浦登町長。

○町長（上浦 登君）

皆様、こんにちは。

本日、7月会議開会に当たりまして、議員の皆様にはお忙しい中御参集賜り、誠にありがとうございます。

さて、本日は議案といたしまして、令和6年度の一般会計及び特別会計に係ります補正予算につきまして提案をさせていただいております。内容といたしましては、公共施設再編整備事業並びに今秋、この秋に行います新型コロナワクチン接種事業を内容としたものでございます。つきましては慎重に御審議をいただき御決定賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

○議長（永並 啓君）

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

なお、7月会議の会議期間は本日一日といたします。

日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

本会の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により、9番・小寺正人議員及び10番・秋元美智子議員を指名いたします。

日程第2「第36号議案 令和6年度豊能町一般会計補正予算（第2回）の件」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

高木副町長。

○副町長（高木 仁君）

それでは、第36号議案、令和6年度豊能町一般会計補正予算の件につきまして、その提案理由の御説明を申し上げます。

お手元の補正予算書の3ページを御覧ください。

令和6年度豊能町一般会計補正予算（第2回）でございます。

第1条といたしまして、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ5,761万4,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ86億3,691万5,000円とするものでございます。

補正後の款項の区分及び歳入歳出予算の金額は、4ページから5ページまでの「第1表 歳入歳出予算補正」に記載のとおりでございます。

続きまして6ページを御覧ください。

第2条といたしまして債務負担行為の補正でございます。「第2表 債務負担行為補正（追加）」に記載のとおり、公共施設再編整備事業（施設解体設計業務）につきまして、債務負担行為の追加を行うものでございます。

次に、今回の歳入歳出予算の補正内容につきまして御説明申し上げます。

最初に歳出について御説明申し上げます。11ページを御覧ください。

款4. 衛生費、項1. 保健衛生費、目1. 保健衛生総務費の3. 国民健康保険特別会計診療所施設勘定繰出金事業でございますが、国民健康保険特別会計診療所施設勘定における歳入の新型コロナウイルスワクチ

ン接種代の増に伴い、財源調整として繰出金を減額するものでございます。

目2. 予防費の3. 予防接種推進事業でありますが、新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用を補正するものでございます。

歳出の説明は以上でございます。

次に歳入について御説明申し上げます。

10ページを御覧ください。

款19. 繰入金、項1. 基金繰入金、目1. 財政調整基金繰入金でありますが、今回の補正による財源調整として2,044万7,000円を増額するものでございます。

款21. 諸収入、項3. 雑入、目3. 雑入でありますが、国のワクチン生産体制等緊急整備基金の管理団体である新薬・未承認薬等研究開発支援センターからの新型コロナワクチン接種助成金を補正するものでございます。

説明は以上でございます。よろしく御審議いただき御決定賜りますようお願い申し上げます。

○議長（永並 啓君）

これより本件に対する質疑を行います。

管野英美子議員。

○6番（管野英美子君）

6番・管野英美子でございます。

補正予算書11ページの衛生費、保健衛生費、予防費、予防接種推進事業についてですが、新型コロナウイルスが5類になり、ワクチン接種も任意となりました。どのように広報されるのかということと、先ほど説明がありました3,716万7,000円は助成金ということですが、この一般財源2,100万円というのはどのような支出なんですか。以上2点お願いします。

○議長（永並 啓君）

答弁を求めます。

小森生活福祉部長。

○生活福祉部長（小森 進君）

こんにちは。答弁させていただきます。

まず1点目の広報の件でございます。先ほど議員触れていただきました接種につきましては、昨日行われました厚労省の自治体説明会におきまして、起点は今年の10月1日から接種するということでございます。この10月1日といいますのは、各自治体によって10月1日からの場合もあるし、遅れる場合もあるかもしれないですけど、基準をその日にせよということでございます。私どもそれを受けまして、まずは9月号の広報に、まずその時点である程度広報できるようなことについて、これは接種の年齢でございますとか自己負担の関係でありますとか、そういった関係、最終的に契約で詰めれないところは載せれないんですけども、そういうことを広報をまずさせていただこうと思っております。先ほど申し上げましたように本格の接種は10月からになりますので、10月におきましては広報と同時に折込のチラシを入れる予定をさせていただいて、これは毎年行われてますインフルエンザの予防接種と重なることもございますので、同時に、1枚1枚になるか、1枚にまとめるかはあるんですけども、別刷りで広報の案内をしていきたいと思っております。

あと入のほうなんですけど、私どものほうとしての助成金の取扱い、ここをちょっと説明させていただきます。これは国のほうで当初ワクチン代の単価については、当時その時点で分かったときには三千数百円ということで設定したんですけども、その後、詳しい情報がわかりまして、どうも単価が1万1,600円ほどになるということが現実的にわかってまいりました。そこで全国

知事会等を通じまして国のほうに要望したところで、この差額についての8,300円については、国庫補助金とか府の補助金とかいうような形態ではなく、先ほど申し上げましたとおり管理団体のほうから直接交付を受けるということになってございます。今後受ける方法につきましては、まずはおそらく7月辺りに、この対象者の人数を把握するために、うちのほうが報告をいたしまして、数回にわたってこの助成金としてお金が入ってくるというようなスキームであるところで聞いてございます。

以上でございます。

○議長（永並 啓君）

暫時休憩いたします。

（午前11時08分 休憩）

（午前11時09分 再開）

○議長（永並 啓君）

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

○生活福祉部長（小森 進君）

お答えいたします。

先ほど申しましたとおり、自己負担のほうなんですけれども、まだ最終的に詰められてはないんですけれども、65歳以上の方につきましては3,000円を徴収させていただく予定になってます。ただ、生活保護と非課税世帯の方につきましては無料という形を取るんですけれども、その額の差額といえますか、入ってくる分を一般会計として受けるものでございます。

以上です。

○議長（永並 啓君）

管野英美子議員。

○6番（管野英美子君）

個人負担が3,000円ということですね。この接種される人数というのはどのように把握をなさるんですか。7月ごろと伺いましたが、その1点だけお答えください。

○議長（永並 啓君）

答弁を求めます。

小森生活福祉部長。

○生活福祉部長（小森 進君）

お答えいたします。

先ほど少し申し上げました全国知事会のほうと厚労省の打合せの、この件に関してメモがございまして、その中で接種率をどれぐらいに設定したらいいかというふうな質問を国に投げかけたところ、約50%ではないかということでは言われてます。具体的に申し上げますと、私ども、6年の5月末現在が8,955名、65歳以上の方いらっしゃいまして、今回の予算を出していただく設定といたしましては、この掛けることの0.5ということで4,478名ということで見込んでございます。

以上です。

○議長（永並 啓君）

ほかに質疑ございませんか。

永谷幸弘議員。

○7番（永谷幸弘君）

永谷です。

管野議員と同じところのワクチンのところでございまして、負担金で1,172万4,000円、その下に予防接種他市接種分負担金って書いてあるんですけど、これって今まであったんか、ちょっと記憶がないんですけど、どういうものなのか、よろしく願いいたします。

○議長（永並 啓君）

答弁を求めます。

小森生活福祉部長。

○生活福祉部長（小森 進君）

お答えいたします。

基本これはインフルエンザでも同じなんですけれども、まずは基本は市町村の中の医療機関で打っていただくのがまず原則に

なっています。だけでも近隣の医療機関に行かれる方はたくさんいらっしゃいます。ですので北摂の地域につきましては、ある程度、自分とこの自治体のお医者さんだけではなくて、覚書を交わすことによりまして、例えば池田市の医療機関に行っても同じような取扱いをするというような覚書を交わしております。ですので、今回はコロナワクチンにつきましては一応この北摂の7市3町の中でこの覚書を交わす、今、予定をしてございますけれども、この7市3町以外で打たれた場合につきましては、一旦自己負担をしていただきまして償還払いをすると、こういうルールになっているのが助成金でございます。ですのでそのほかにつきましては、この7市3町内で打たれた分についてのお金ということになりますので、今回、コロナワクチンの接種が始まるから新たに設けるというものではなく、インフルエンザのときも同様にしてございます。

以上でございます。

○議長（永並 啓君）

永谷幸弘議員。

○7番（永谷幸弘君）

ということは、今回1,172万4,000円というのは何名ぐらいを予想、該当者わかんと思うんですけど、何名ぐらいを考えておられるのかお願いいたします。

○議長（永並 啓君）

答弁を求めます。

小森生活福祉部長。

○生活福祉部長（小森 進君）

お答えをいたします。

この人数の割り方につきましては、非常にちょっと微妙になかなか出しにくいところございまして、今回参考にさせていただきましたのは、昨年度実施されましたインフ

ルエンザのワクチンで、先ほど申し上げましたその業務委託料と負担金、総額の割合についてを算出いたしました。ということで結果につきましてはその全額のかかった額の業務委託料を8割で、あと償還でお支払する負担金については2割ということの積算にしております。

以上です。

○議長（永並 啓君）

ほかに質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（永並 啓君）

ないようですので質疑を終結いたします。これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（永並 啓君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。第36号議案は原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（永並 啓君）

起立全員であります。よって、第36号議案は原案のとおり可決されました。

日程第3「第37号議案 令和6年度豊能町国民健康保険特別会計診療所施設勘定補正予算（第1回）の件」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

小森生活福祉部長。

○生活福祉部長（小森 進君）

第37号議案、令和6年度豊能町国民健康保険特別会計診療所施設勘定補正予算の件につきまして、提案の理由を御説明申し上げます。

補正予算書の3ページを御覧ください。

令和6年度豊能町国民健康保険特別会計診療所施設勘定補正予算（第1回）でござ

います。

第1条といたしまして、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ312万1,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9,716万3,000円とするものでございます。

補正後の款項の区分及び歳入歳出予算の金額は、4ページから5ページまでの「第1表 歳入歳出予算補正」に記載のとおりでございます。

それでは、今回の補正の内容につきまして歳出より御説明申し上げます。

9ページを御覧ください。

款2. 医薬費、項1. 医薬費、目2. 医薬品衛生材料費の医薬品管理事業312万1,000円でございますが、こちらは先ほど、第36号議案で説明のありました新型コロナウイルスワクチン接種において、国保診療所で必要となるワクチン購入代でございます。

歳出は以上でございます。

次に、歳入について御説明申し上げます。

8ページを御覧ください。

款1. 診療収入、項2. その他の診療報酬、目1. 諸検査等収入の1. 現年度分412万6,000円は、歳出で申しあげました新型コロナウイルスワクチン接種に係る診療報酬となっております。

次に、款4. 繰入金、項1. 繰入金、目1. 繰入金の1. 一般会計繰入金につきましては、今回の補正による財源調整として100万5,000円を減額するものでございます。

説明は以上です。よろしく御審議いただき御決定賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（永並 啓君）

これより本件に対する質疑を行います。

中川敦司議員。

○4番（中川敦司君）

中川です。

この予算書の9ページ、先ほど説明ありましたとおり、医薬品管理事業ということで新型コロナワクチンの購入費ということで計上されているという説明でございますが、これ何人分を準備される予定なのか、まずそこをお伺いします。

○議長（永並 啓君）

答弁を求めます。

小森生活福祉部長。

○生活福祉部長（小森 進君）

お答えいたします。

今回、初めてこの接種を行っていくわけなんです。今までもやっておったんですが全く新たな形で負担を徴収させていただきまして実施するんですけれども、ここの数字の読み方につきましては、同じように昨年度まで実施しておりますインフルエンザの予防接種の実績に伴う部分を参考にさせていただきました。全体の接種いただいた方のうち、約、国保診療所で6%の方が接種いただきました。関係で割り戻しますと269名、約270名の方ということを対象にさせていただきます。

以上でございます。

○議長（永並 啓君）

ほかに。

中川敦司議員。

○4番（中川敦司君）

2回目です。

当初、この新型コロナ、結構何年か前に広まっていったときに、その当初は町としてワクチンを購入いとか入手して、それをしっかりと保管して、冷蔵保管やったかな、何かきちっとやってそれを各クリニックとかに分配していくという、確かそのようなやり方を当初しておったと記憶してるんですけども、今回この予算におきますと国保

診療所として購入するということですけども、その辺りこの新型コロナワクチン、その後変わってきてるとは思いますが、保管とかその辺りは大丈夫と考えておったらよろしいのでしょうか。

○議長（永並 啓君）

答弁を求めます。

小森生活福祉部長。

○生活福祉部長（小森 進君）

お答えいたします。

先ほど議員おっしゃっていただきましたとおり、これまで、この3月まで実施してきたワクチンにつきましては非常に扱いにくいといえますか、超低温で保管をし配送していたという実態がございます。今回この10月以降に使われるワクチンにつきましては、まだ承認を受けておるワクチンはありません、実は。今後、これはずっとその後から各社開発をしておるんですけども、先ほど問題になったその取り扱いにくい部分、その辺とか、1バイアルで6人分とかそういう制限もございましたので、その辺を改善するべく研究がずっと行われているというふうに聞いてございます。具体的には、おそらくこの10月からスタートするんですけども、それまでに国の審議会を経て承認を得た後に、そういうワクチンが出てくるというふうに考えてございます。予想されますのは、先ほど申し上げましたとおり、おそらくインフルエンザと同じような取扱い、インフルエンザのワクチンと同じような取扱いで、各卸のメーカーから各診療所さんが購入されると、こういうことを想定しています。

以上です。

○議長（永並 啓君）

ほかに質疑ございませんか。

高尾靖子議員。

○11番（高尾靖子君）

高尾です。

今、新薬ということで御説明がありましたが、この承認を受けるのはいつ頃になるということなんでしょうか。

○議長（永並 啓君）

答弁を求めます。

小森生活福祉部長。

○生活福祉部長（小森 進君）

お答えいたします。

結論から申し上げますと、私どもにはわかってないです。ちょっと先ども触れましたが、6月の終わりのほうに全国の自治体の説明会がオンラインでございました。そのときにも、先ほど私がお答えしたような内容でしか国も回答してませんでしたので、今までの私どもの経験からしますと割とぎりぎりになるんじゃないかなというふうに思います。ですので10月までは当然、国として認可を出しておかないと接種はできないんですけども、今までの経験上のことを申し上げますと、ちょっとぎりぎりになるんじゃないかなということも思っております。ですけれども、粛々とメーカーのほうについては研究を重ねて、いろいろ治験も出してるということは思っております。

以上です。

○議長（永並 啓君）

高尾靖子議員。

○11番（高尾靖子君）

これまでいろいろ慎重にされてきているこの薬ですが、安全が確保されるということ、ぜひ願って、それを確認されてからできたらお願いしたいなというふうに思います。というのは、やはりこれによってアレルギーを起こしたりいろいろあると思うんですけど、その点は全く問題がないこと

なのか、その辺もちょっと心配なんです、
いかがでしょうか。

○議長（永並 啓君）

答弁を求めます。

小森生活福祉部長。

○生活福祉部長（小森 進君）

お答えいたします。

先ほど申し上げました、国においての薬
科の審議会がございまして、そこの中で決
められることですが、これも先ほど
申し上げましたとおり、各メーカーがいろ
いろなデータを出してそこで専門の先生方
がどうかということを決められるというこ
とでございまして。確かに今までの実績はあ
るものの、また新たにに取り組むというこ
とがございまして、私どもといたしまして
はそこで決められたことについてを厳粛に
受け止めて実施していくということになる
と思いますので、我々がこのところはど
うかということは一つずつ取り上げるとい
うことはできないかなと思ってございませ
ん。ただ、今後につきましても今まで行っ
たと同様、仮に予防接種で被害があった場
合につきましては、これは申請をいただいて、
場合によっては医療費の助成であるとか年
金であるとか、残念ながらお亡くなりにな
った方については死亡金が出るということ
も、これを合わせて引き続き行われますの
で、その点追加しておきます。

以上です。

○議長（永並 啓君）

ほかに質疑ございませんか。

才脇明美議員。

○2番（才脇明美君）

これ妊婦に対するワクチンの安全性、有
効性は現時点ではどうなんでしょうか。令
和3年1月には厚労省ではこれ検討する
ということになっているんですけど、今現時

点、わかって、明らかになっておればお答
え願いたいんですが。

○議長（永並 啓君）

答弁を求めます。

小森生活福祉部長。

○生活福祉部長（小森 進君）

お答えをいたします。

これも先に結論から申し上げるんですけ
れども、今の段階ではまだこの新しいワク
チンにつきましてはまだその結果が出て
るかどうかというのは私が個人で仕入れて
いる情報はございません。前回までのやっ
てたワクチンを見ますと、やはりその辺に
ついての問題はないという認識で妊婦の方
にも受けていただいたのかなというふう
に認識してございまして。ただ、今回の場
合につきましては、今回予算を上げさせて
いただいておりますのはあくまでも65歳
以上の方対象ということになってござい
ます。それ以外の方については、これは
あくまでも任意接種という形で自己負担
を、全額をお支払いいただいて、自分
で受けたい方については受けていただ
くと、こういう流れになってございませ
んので、併せてその辺の安全性につ
いても何か国のほうでも出るんじや
ないかなというふうに思っております。

以上です。

○議長（永並 啓君）

ほかに質疑ございますか。

（「なし」の声あり）

○議長（永並 啓君）

ないようですので質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（永並 啓君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

第37号議案は原案のとおり決することに

賛成の方は起立願います。

(全員起立)

○議長(永並 啓君)

起立全員であります。よって、第37号議案は原案のとおり可決されました。

以上で、7月会議に付された事件は全て終了いたしました。

お諮りいたします。

7月会議は本日で閉会したいと思います。
これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(永並 啓君)

異議なしと認めます。よって7月会議は本日で閉会することに決定いたしました。

これで本日の会議を閉じます。

7月会議の閉会に当たり町長から挨拶が
ございます。

上浦登町長。

○町長(上浦 登君)

それでは、令和6年7月会議の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げさせていただきます。

議員の皆様におかれましては、今回の会議に御提案させていただきました議案につきまして、慎重に御審議をいただき御決定賜り誠にありがとうございました。お礼を申し上げる次第でございます。本日いただきました議員の皆様からの御意見、これにつきましても十分留意させていただきながら引き続き進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、スマートシティ事業に関わります企業版ふるさと寄附の未収問題につきましては、住民の皆様や関係者を初めとする多くの皆様に御心配と御迷惑をおかけしておりますことに改めましてお詫び申し上げます。誠に申し訳ございません。私といたしましても非常に残念で、歯

がゆく、もどかしい思いでいっぱいでございます。今後はこのようなことが決してないように、一基礎自治体・地方公共団体として行財政運営にしっかりと取り組んでまいりますので、御理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。また、株式会社OZ1及び塩川前町長に対しましては引き続き法的措置も検討してまいりたいと考えておりますので、併せてよろしくお願い申し上げます。

むすびに、議員の皆様におかれましては時節柄くれぐれも御自愛いただきますようお願い申し上げまして、7月会議の閉会に当たりましての御挨拶をさせていただきます。ありがとうございました。

○議長(永並 啓君)

これをもって令和6年豊能町議会7月会議を閉じ、散会いたします。どうもお疲れさまでした。

散会 午前11時29分

本日の会議に付された事件は次のとおりである。

会議録署名議員の指名

第36号議案 令和6年度豊能町一般会計補正予算（第2回）の件

第37号議案 令和6年度豊能町国民健康保険特別会計診療所施設勘定補正
予算（第1回）の件

以上、会議の次第を記し、これを証するためここに署名する。

令和 年 月 日署名

豊能町議会 議 長

署 名 議 員 9 番

同 10番

